

としはる通信

2012.12

No.43

編集、発行
川村 俊治
〒258-0111
山北町向原
17-10
Tel.75-0928
E-Mail
t-kawamu@m
d.biglobe.ne.jp



ごあいさつ

今年も残すところ僅かとなりま
した。世相を表す漢字が「金」と
決まりましたが、皆さまほどのよ
うな感じをお持ちでしょうか。

急な冷え込みで寒さが増してき
ましたが、ご自愛され、清々しい
新年を迎えられますようお祈り致
します。

さて、12月5日から7日までの
3日間、山北町議会第4回定例会
が開催されました。主な議題は自
治基本条例などの制定、補正予算
などでした。

速報としていつものようにお知
らせてまいります。ご一読いた
だいてご意見などお寄せいただき
ますようお願い申し上げます。



川村としはる
(俊治)

一般質問

幼稚園・保育園行政の考え方

町では定住対策の一環として、
乳幼児・学童に対して医療費の無
料化、幼稚園・保育園料の一部補
助など手厚い支援をしています。

しかし、急速に進む少子化には
歯止めがかからず、現在の5歳児
から0歳児は、71人から53人の範
囲で推移しており、都市部のよう
な保育園の待機児童はありません。
幼稚園においても、山北幼稚園
は160人の定員に対し23人、岸
幼稚園は120人に対し45人の
在園となっています。

質問 保育所への入所条件であ
る「保育に欠ける」のうち、育児
休業前から入所している児童の継
続入所、保護者が求職活動中の場
合、において問題はないか。

答弁 3歳児から5歳児までは
継続入所を認め、0歳児から2歳
児は退所していただいています。
求職活動中は2ヶ月間の入所を認

め、その間に就職先を決めていた
だいています。

質問 条例に記載はなく、担当
者の裁量で変わることが考えられ
る。条例化してホームページ（H
P）にも載せ、公平なルールとす
べきだ。

答弁 明確な規則にしてHPに
も載せます。

質問 岸幼稚園の建替えを保護
者や地域に説明しているが、町全
体の幼児教育に対する考えを提示
すべきだ。

答弁 町全体の幼児教育に対す
る考えは説明せず、老朽化による
建替えのみを説明しました。今後、
考え方を示していきます。

質問 幼稚園児は27年度まで
山北、岸を合わせて、年少・年中・
年長各20〜25名だ。それ以降の、
子ども数のトレンドを示すべきだ。
答弁 以降の子ども数を示すこ
とは難しい。

質問 2000人を超える要望

書が出たとあるが、保護者はなぜ
要望書を出したと考えるか。現在
の園児は新築園舎に入れない。

答弁 説明会において、説明が
不足し、山北幼稚園に統合される
という誤解を与え、建替え要望に
発展しました。

質問 建設に8500万円、補
助金は2000万円と説明を受け
たが、不足分は負債か。

答弁 その方向です。

質問 6500万円を借り、20
年で返済すると年間約450万円
だ。山北幼稚園は平成21年度に5
292万円をかけて耐震対策を実
施した。1園にして英語とか子ど
もの潜在能力を引き出すためのソ
フト面の充実に使ってはどうか。

答弁 そういうことも必要だが
ハードの要求も高い。

質問 少ない子ども数の中、建
替えに反対する人もいる。アンケ
ートで声を聞いてはどうか。

答弁 アンケートは実施しない。

質問 向原保育園では送迎の車
を道路に止めるので、近隣住民が
迷惑をしているとも聞く。車の退
避所を整備する考えはないか。

答弁 道路に駐車して問題があ
ったので、園庭を開放してしま
すが、園庭が荒れるので、退避場所
を検討していきたい。

東山北駅周辺のまちづくり

小田原百貨店とコメリが進出

東山北駅周辺地区魅力づくり事業「東山北1000」まちづくり構想の一環として取り組んでいる、原耕地地区への商業施設の誘致が決定しました。

11月6日の議会全員協議会で説明がありました。すでに関係する地域には町から説明がされていることと思います。

進出する事業者は(株)小田原百貨店で、サブテナントとして(株)コメリ(ホームセンター)が決定しました。平成26年2月中旬オープンで、設計・工事が進められる予定です。場所は県道721号線(東山北停車場線)沿いで、(有)イケエダオートから大洋物流(株)の間になります。

東山北1000まちづくり構想には、駅前の整備、水土地区、尾先地区を含めた整備計画があります。また、国・県道整備の促進及び町道整備をして、交通ネットワークを整備してまちづくりを推進するものです。

今回の誘致成功をきっかけに東山北駅周辺の整備がされ、山北町の東の中心として発展していくことを期待したいものです。

岸幼稚園の建替え計画を考える

そもそもなぜ建替えなのか

岸幼稚園は昭和48年に落成、築後39年が経過しています。耐震診断の結果、耐震指標値が著しく低く、倒壊の危険が高いが、老朽化のため耐震補強工事では補えないというものです。

幼稚園の現状はどうか

町内には三保、山北、岸の3幼稚園があり、通園区域を定めてそれぞれの幼稚園に通園しています。また、町外の私立幼稚園に通園している幼児もいます。

山北幼稚園は定員160名に対し園児は23人(年少5人、年中6人、年長12人)で、岸幼稚園は定員120名に対し45人(年少15人、年中17人、年長13人)が通園しています。そして、先生は各幼稚園に4名ずつ配置されています。三保幼稚園は定員40名に対し9人が通園しています。

また、山北幼稚園は平成21年度に5292万円をかけて耐震対策工事を終了しています。

将来の子ども数と財政負担

計画では、建替えは平成26年度なので、現在通園している園児は新築園舎に入ることにはできません。そして、その後の子どもの数は予

測できないが、現在程度で推移すると答弁がありました。

一方、国立社会保障・人口問題研究所では、国勢調査に基づく人口推計を出しています。平成20年12月の推計によると、20年後2030年の山北町の人口は8400人程度です。

建築費は約8500万円、補助金は約2000万円です。備品等も必要であり、6500万円程度は借金です。これを最近の返済計画・利率等で試算すると年間約450万円を20年間支払います。

財政事情が厳しい中、山北幼稚園の耐震対策にかけた費用を合わせて考える必要があると考えます。建替えに反対する意見もある中で、アンケート等で公平に意見を聞く行政の姿勢を示していただきたいものです。

保護者はなぜ署名運動したのか

11月6日の議会全員協議会において、「保護者から2000名を超える要望があったので建替える」と説明がありました。

一般質問で、なぜ保護者は要望書を出したと思うか。という質問に対し、「説明会において説明が不足した」と答えています。10月になって唐突に、25年度から山北幼稚園へ、と言われたら保護者は戸

惑うでしょう。今、通園している子どもが山北幼稚園に統合されると考えたのはごく自然なことだと思います。明確な計画を立てて丁寧な説明すればもっと理解が進んだと思います。

幼児教育の住民へのサービスはハードを作ることからソフト事業の充実、教育の充実に移す時代だ

先に書いたとおり、人口減少の中で年間450万円の借金返済が必要になります。1園にしてこのお金を使い、教育に力を入れてはどうでしょうか。例えばグローバル化に対応する英語教育、子どもの潜在能力を引き出すためのソフト事業などが考えられます。急激な統合は摩擦を生むので、何年後かに統合することで周回な計画と十分な説明が必要です。

私立の幼稚園に通わせる親は、遠くても何か魅力があるからだと考えるべきです。山北の幼稚園は公立だけれど素晴らしい教育をしている先進町だ、といわれるようにするにはどうでしょうか。

通園区域が定められているといいますが、決めたのは町だから撤廃することは簡単です。清水地区や平山地区、共和地区は山北幼稚園が通園区になっており、遠くから通っています。